

再評価結果(平成25年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・防災課
担当課長名:三浦 真紀

事業名	一般国道4号 <small>ひがしさいまどうろえんしん</small> 東埼玉道路(延伸)		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自: <small>さいたまけんよしかわしかわふじ</small> 埼玉県吉川市川藤 至: <small>さいたまけんかすかべしずいかく</small> 埼玉県春日部市水角			延長	8.7km	
事業概要	一般国道4号は、東京都から青森県に至る延長約860kmの主要幹線道路であり、埼玉県東部地域を南北に縦貫する主要な幹線道路として重要な役割を担っている。東埼玉道路は、埼玉県八潮市八條から春日部市下柳までの計画延長17.6kmのバイパス事業であり、平成16年度までに起点から延長5.7kmを供用したところである。東埼玉道路(延伸)は、供用中区間終点部から国道4号接続部までの一般国道4号のバイパス事業である。					
S63年度都市計画決定	H20年度事業化	H23年度用地着手	H一年度工事着手			
全体事業費	約134億円	事業進捗率	5%	供用済延長	0km	
計画交通量	12,800~18,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 5.4 (残事業) 5.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 127/134億円 事業費:100/108億円 維持管理費:27/27億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 725/725億円 走行時間短縮便益:682/682億円 走行経費減少便益:19/19億円 交通事故減少便益:24/24億円	基準年 平成24年		
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量 : B/C= 4.9~5.9(交通量±10%) 【残事業費】交通量 : B/C= 5.1~6.3(交通量±10%)</p> <p>事業費 : B/C= 5.0~5.9(事業費±10%) 事業費 : B/C= 5.2~6.2(事業費±10%)</p> <p>事業期間: B/C= 5.2~5.6(事業期間±1年) 事業期間: B/C= 5.5~5.9(事業期間±1年)</p>					
事業の効果等	<p>(1)交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> 東埼玉道路と並行する国道4号(新善町交差点~水角交差点)の損失時間は247.7千人時間/年・kmであり、全国平均(26.3千人時間/年・km)の約9倍。 東埼玉道路の整備により、交通の円滑化が図られ、渋滞の緩和が見込まれる。 <p>(2)安心安全な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 東埼玉道路と並行する国道4号(新善町交差点~水角交差点)では、死傷事故率が全国平均を上回る区間が点在している。(南荻島交差点付近:死傷事故率427.3件/億台・km 全国平均の約4倍) 東埼玉道路の整備により、交通の円滑化が図られ、交通事故の減少が見込まれる。 <p>(3)開発計画等の地域振興の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 東埼玉道路沿線には、越谷レイクタウンや東埼玉テクノポリスなどの様々な施設が立地しており、東埼玉テクノポリスの拡張計画も予定されている。 当該区間の整備は、これら開発事業を支援するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。 					
関係する地方公共団体等の意見	埼玉県知事の意見:本路線は、国道4号の交通混雑の緩和や沿線の開発事業を支援し、県東部地域における南北軸として圏央道や外かん道と連携し、本県の広域ネットワークを形成する極めて重要な道路であります。引き続き、コスト縮減に十分留意しながら、早期完成をお願いします。					
事業評価監視委員会の意見	事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	東埼玉道路沿線では、越谷レイクタウン(特定土地地区画整理事業)の開発事業が進行中であり、平成20年10月には複合商業施設(イオンレイクタウン)がオープン。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成20年度の事業化以降、測量・地質調査・設計を実施し、平成23年度から用地買収に着手。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き、用地取得の促進を図り、事業全体の早期完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	—					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の事業効果及び進捗状況、関連する地方公共団体の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。					
事業概要図	—					

